

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

免疫グロブリン遊離 L 鎖 / 比 (依頼コード No. 5880)

受託開始日 2012年7月2日(月)受付分より

本検査は、血清中の遊離 L 鎖 と遊離 L 鎖 を特異的かつ高感度に検出できることから単クローン性ガンマグロブリン血症の診断率が既存の測定法より向上し、特に従来の検査では M 蛋白を検出することが困難であった非分泌型骨髄腫や AL アミロイドーシスを診断する能力が高くなります。

遊離 L 鎖(FLC)は、その血中半減期が完全型グロブリンより短いことから病勢をリアルタイムに反映し治療効果及び臨床経過の評価対象として有用です。MGUS などの微量 M 蛋白産生性疾患や無症候性骨髄腫から症候性骨髄腫へ進展する可能性のある症例の予後予測のマーカーとしても使用されます。

また、血清中の遊離 L 鎖(FLC)は腎機能の影響を受けないため病勢を正確に反映できます。

MGUS : monoclonal gammopathy of undetermined significance

裏面に続きます

受託要領

依頼コードNo.	5880
統一コード	5A141-0000-023-063
検体必要量	血清 0.5 mL
採取容器	B-1 S-1
検体の保存方法	冷蔵
所要日数	2～8日
検査方法	ネフェロメトリー法
基準値	/ 比 0.26～1.65 遊離L鎖 3.3～19.4 mg/L 遊離L鎖 5.7～26.3 mg/L
単位	なし(比) mg/L(濃度)
報告範囲	/ 比 0.01未満～最終値 遊離L鎖 0.3未満～最終値 遊離L鎖 0.3未満～最終値 遊離L鎖、遊離L鎖 のいずれかが0.3未満の場合、 / 比は「換算不可」と報告させていただきます。
報告桁数	小数第2位(比) 小数第1位(濃度)
検査実施料/判断料	400点/144点(免疫学的検査)

【測定法の参考文献】 伊藤早苗, 他: 医学と薬学 64, 111-117, 2010.